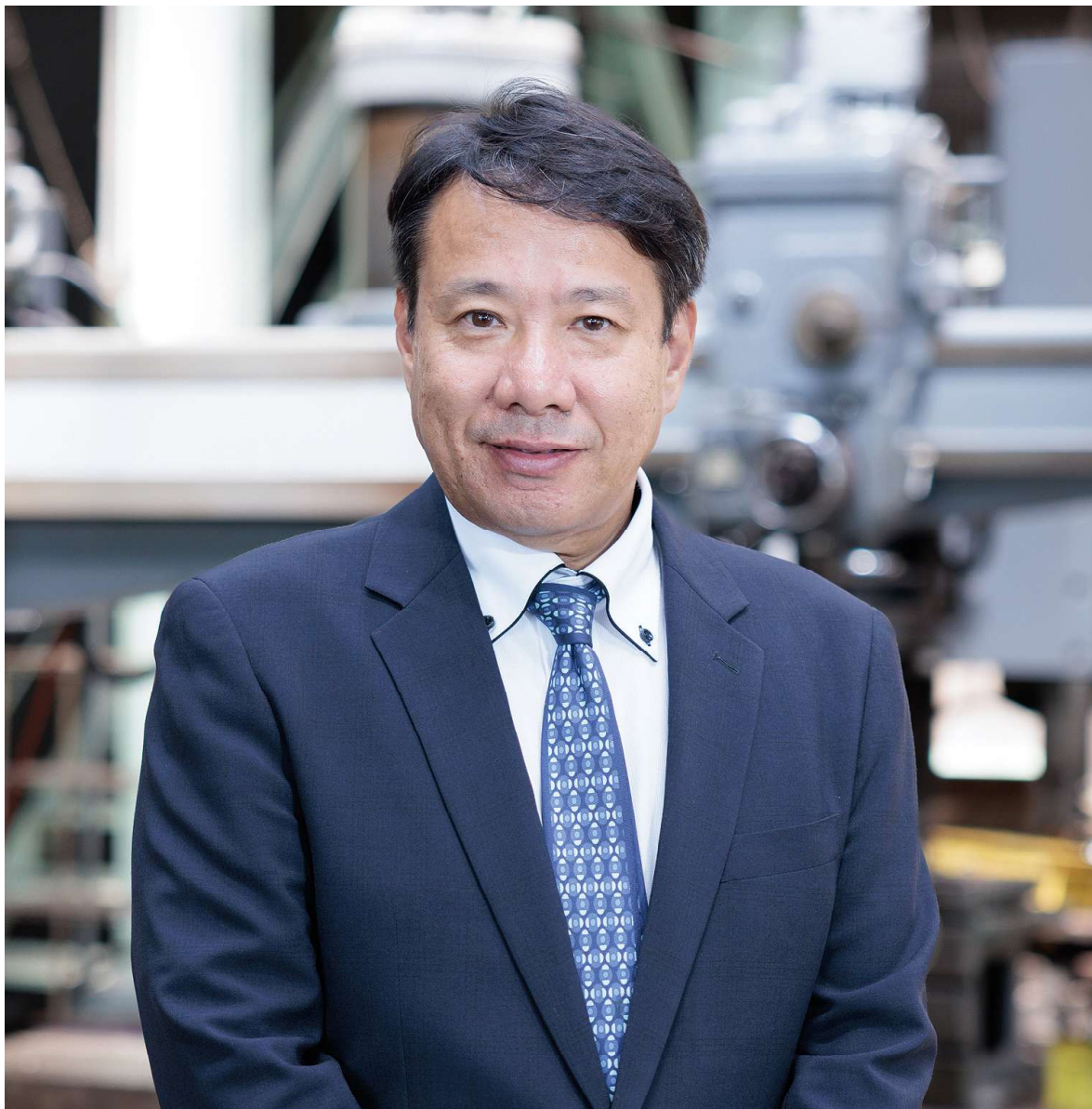


株式会社 江戸川バルブ・プロテクション

エドガワバルブプロテクション



代表取締役社長

鈴木 慶太

すずき けいた

PROFILE

1974年4月生まれ。千葉県出身。高校卒業後、半導体企業に入社し、4年間、メンテナンス関係に従事。退職後、江戸川バルブ・プロテクションに入社。技能部、整備部、営業部、営業部長、専務を経て、代表取締役社長に就任。趣味は、ゴルフと7年間続けているスポーツジムで体を動かすこと。

製油所・石油化学工場におけるバルブ整備のプロとして、日本の化学産業をサポート。

バルブの整備・販売で
石油プラントを支える

石油化学はプラスチックや合成ゴムなどの基幹素材を供給し、化学産業全体を支える重要な役割を担います。弊社は石油プラントにおけるバルブの整備・販売を事業の柱に成長を続けてきました。バルブのメーカーや弁種を問わず、高品質な整備を自社で実施。バルブメーカーとの信頼関係の下、豊富な種類の製品を取り扱っています。石油化学向け銅製バルブの在庫は日本一となっております。バルブは流体の流れを制御する遮断、圧力調節、逆流防止など役割が多岐に渡り、石油やガスを安全で効率的な運用を確保し、プラントのパフォーマンスを高める重要な役割。

プラントは24時間稼働する、いわば生き物です。止まると回復するには時間を要するため、迅速で臨機応変なメンテナンスを実施し、安全・安定操業に資するべく、課題解決を行う使命があります。弊社の姿勢や行動に対して、お客様からも感謝の言葉を寄せられ、誇りを持てる仕事です。

新設部門と機器導入
短納期と高品質を実現

弊社は長年培ってきた技術力、協力会社やバルブ大手メーカーなどのコネクションによって円滑に仕事が進められ、全方位をカバーできる点が大きな強みになっています。ノウハウがあるからこそ、バルブの改造や機械加工品の製作など細かなカスタマイズが可能で、設計図がない

中でも考査を行い、一定の品質を担保できます。

最大の強みは、「高い品質とスピード」の両輪を兼ね備えている点です。2023年12月、設計・機械加工部門を新設。従来から機械加工は行っていましたが、設計部分を強化し、3DCADを用いたクオリティの高い設計を担える人材を迎え入れ、昨年度にはマシニングセンタも導入。複数の切削加工をコンピュータ制御する多機能工作機械として、プログラムに従って24時間、自動で行える体制になりました。新たな人材と設備導入で、1か月かかる作業が3日で終わられるなど、「短納期」を実現したことは弊社の新たな武器となっています。弊社の取り組みを知り、同業者や大手メーカーなど、多くの企業が見学に訪れるほどに。副次的効果として社員が工場内の清掃をより意識し、整理整頓されたことです。

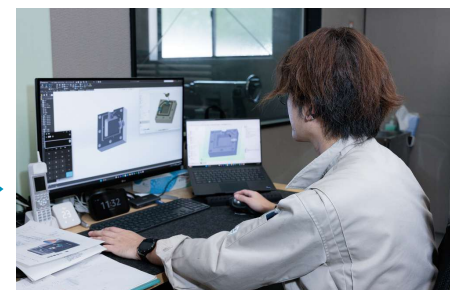
働き方は自分次第
会社は全力フォロー

経営理念に、「苦手を得意に」と掲げています。メーカー主催の社外

研修、社内での講習会も行い、レベルアップを図っていく。現場の多くは本社のある京葉地区ですが、時には地方へ出張し、お客様ごとで違うルール、やり方や文化を吸収する場にしています。質の高い仕事をする社員の奮闘に報いるよう、現在は新たな人事評価制度を策定中。難易度の高い仕事に従事した社員には手当や賞与で還元するシステムを組んでいます。ただ、楽しく仕事することが大前提。全員が苦手を克服する必要はありません。各々の働き方を尊重しています。また、仕事においてはプロフェッショナルですが、生活のすべてを仕事に捧げる必要はありません。実際、有給消化率はほぼ100%。閑散期には休めるよう配慮しています。ゴルフコンペや釣り大会、社員旅行など福利厚生も充実。節目の期には海外旅行も行っています。

物いじりや発想するのが好きな方には合っている職場で、社員は30～40代が多く、気軽に相談できる先輩も多い。免許の講習や取得費用は会社持ちで、一部の資格取得には手当もつきます。弊社は若い方々がより力を発揮しやすい土台作りを着々と進めています。

CADで設計した情報をCAMに取りこみ、マシニングセンタが自動加工を行うことで短納期を実現した



所在地 〒299-0257 千葉県袖ヶ浦市神納4176-12
TEL 0438-62-1079
設立 1967(昭和42)年12月
従業員数 22名
売上高 バルブ販売 6億4737万円
バルブ整備 4億6362万円
事業内容 石油・化学プラント設備工事(各種バルブの販売・整備メンテナンス・機械加工、設計)
URL https://www.edo-pro.jp

企業公式サイト

